



富山大学学報

第36号 (昭和37年11月)

目次

関係法令	1
学内規程	1
人事異動	2
学内通知	3
昭和38年度学生募集要項 (経営短期大学部)	3
学内情報	3
永年勤続者表彰	3
高瀬学部長の印度視察談公演	3
内田教授日本学術会議会員に当選	3
日本学生経済ゼミナール	4
北信越教育系学生ゼミナール	4
富山アイソトープ談話会	4
北陸3県大学交歓芸術祭	4
レクリエーション	4
日誌	4
職員住所	6

関係法令

政令

第429号 予算決算及び会計令臨時特例の一部を改正する政令 37.11.19官報

規則

会計検査院第9号 会計検査院事務総局事務分掌及び分課規則の一部を改正する規則 37.11.1官報

人事院4-0 人事主任官を置く国の機関の一部を改正する規則 37.11.1

9-7 俸給等の支給の一部を改正する規則 37.11.1

9-17 俸給の特別調整額の一部を改正する規則 37.11.1

9-30 特殊勤務手当の一部を改正する規則 37.11.1

16-0 職員の災害補償の一部を改正する規則 37.11.1

9-31 隔遠地手当の一部を改正する規則 37.11.20

告示

文部第147号 昭和38年度科学研究費交付金および科学試験研究費補助金の研究計画調書の提出期限ならびに研究成果刊行費補助金の刊行計画調書の提出期限を定める件 37.11.20官報

学内規程

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和37年11月30日

富山大学長 横田 嘉右衛門

第8条および第12条中「専門科目、外国語および体育」を「外国語科目、保健体育科目および専門教育科目」に、第9条および第11条中「外国語および体育」を「外国語科目および保健体育科目」に改める。

別表(第1)中

「

薬学部	薬学科	薬化学講座・薬品分析化学講座 ・生薬学講座・製薬学第1講座 ・製薬学第2講座・衛生化学講座 ・薬剤学講座・生物薬品化学講座 ・薬物学講座
工学部	電気工学科	電気工学第1講座・電気工学第2講座 ・電気工学第3講座・電気工学第4講座 ・電気工学第5講座
	工業化学科	工業化学第1講座・工業化学第2講座 ・工業化学第3講座・工業化学第4講座
	金属工学科	金属工学第1講座・金属工学第2講座 ・金属工学第3講座・金属工学第4講座
	機械工学科	機械工学第1講座・機械工学第2講座 ・機械工学第3講座・機械工学第4講座 ・機械工学第5講座

」を

薬学部	薬 学 科	薬化学講座・薬品分析化学講座 ・生薬学講座・製薬学第1講座・ 製薬学第2講座・衛生化学講座 ・薬剤学講座・薬剤製造学講座 生物薬品化学講座・薬物学講座	改める。 別表(第2)中 「 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>外国語</td><td>英語・ドイツ語・フランス語・ラテン語</td></tr><tr><td>体育</td><td>講義・実技</td></tr></table> 」を 「 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>外国語科目</td><td>英語・ドイツ語・フランス語・ラテン語</td></tr><tr><td>保健体育科目</td><td>講義・実技</td></tr></table> 」に 改める。 附則の次に次の附則を加える。 附 則(昭和37年11月30日改正) この学則(改正)は、昭和37年11月30日から実施し、昭和37年10月1日から適用する。	外国語	英語・ドイツ語・フランス語・ラテン語	体育	講義・実技	外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・ラテン語	保健体育科目	講義・実技
外国語	英語・ドイツ語・フランス語・ラテン語										
体育	講義・実技										
外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・ラテン語										
保健体育科目	講義・実技										
	電気工学科	電気工学第1講座・電気工学第2講座・電気工学第3講座・電気工学第4講座・電気工学第5講座									
	工業化学科	工業化学第1講座・工業化学第2講座・工業化学第3講座・工業化学第4講座・工業化学第5講座									
	金属工学科	金属工学第1講座・金属工学第2講座・金属工学第3講座・金属工学第4講座									
	機械工学科	機械工学第1講座・機械工学第2講座・機械工学第3講座・機械工学第4講座・機械工学第5講座									

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 件 庁
講 師 (文 理 学 部)	桑 田 秋 水	教授に昇任させる	37.11.1	文 部 省
事 務 員 (庶 務 課)	洲 崎 茂	文部事務官に任官させる	〃	富 山 大 学
(〃)	渡 辺 登美枝	〃	〃	〃
(〃)	高 見 麗 子	〃	〃	〃
(会 計 課)	堀 和 子	〃	〃	〃
(文 理 学 部)	森 田 美喜子	〃	〃	〃
(〃)	奥 村 喜代志	〃	〃	〃
(教 育 学 部)	永 森 寿 子	〃	〃	〃
(経 済 学 部)	奥 田 雅 子	〃	〃	〃
(附 属 図 書 館)	佐 藤 透	〃	〃	〃
(〃)	細 川 勝 見	〃	〃	〃
技 能 員 (庶 務 課)	大 場 文 子	〃	〃	〃
(〃)	森 田 タミ子	〃	〃	〃
(〃)	高 安 芳 枝	〃	〃	〃
(会 計 課)	沢 本 省 三	文部技官に任官させる	〃	〃
技 術 員 (学 生 部)	中 村 良 子	〃	〃	〃
(〃)	城 川 智都子	〃	〃	〃

技 術 員 (工 学 部)	大 野 三 代	文部技官に任官させる。	37.11. 1	富山大学
技 能 員 (〃 〃)	石 崎 平 三	〃	〃	〃
(〃 〃)	野 田 政 雄	〃	〃	〃
(〃 〃)	神 島 弥 省	〃	〃	〃
(〃 〃)	山 本 喜 太 郎	〃	〃	〃
教 務 員 (薬 学 部)	清 水 岑 夫	〃	〃	〃
文 部 技 官 (工 学 部)	高 辻 きみ子	文部技官を免じ文部事務官に任官させる	〃	〃

学 内 通 知

昭和38年度学生募集要項

経営短期大学部

- 募集人員
経営科第2部……………80名
- 出願期限
{ 2月18日(月曜日)から
{ 2月27日(水曜日)まで
- 学力検査

教 科	科 目
国 語 科	国語(甲)(漢文を除く)
社 会 科	社会、商業簿記のうちいずれか1科目を選択する
数 学 科	数学I
外 国 語 科	英 語

4. 検査日及び時間表

月日(曜)	時 間	検査教科
3月26日 (火)	午前9時~同10時 (60分間)	国 語
	午前10時30分~同11時30分 (60分間)	外 国 語
	午後零時30分~同1時30分 (60分間)	社 会
	午後2時~同3時 (60分間)	数 学
	午後3時15分~健康診断 (本学において指定された者のみ)	

5. 合格者発表は4月3日(水)

学 内 情 報

永年勤続者表彰

恒例の永年勤続者の表彰式は、11月22日午前11時から本部会議室で行なわれた。当日は、大学後援会側から中井精一副会長が参列、学長ともに祝辞を述べたが、これに対し被表彰者を代表して四谷教授が答辞を述べた。

ことしの表彰の対象となった人々は次の12名である。

所 属	氏 名	本学 勤続	そ の 他 教育機関	通算
文 理 学 部	須沼吉太郎	10年	16.10	26.10
〃	柿岡 時正	15.5	4.5	20.
教 育 学 部	布村 安弘	12.8	8.7	21.5
〃	林 三雄	14.	6.9	20.9
附 属 小 学 校	山崎 正俊	10.3	12.6	22.9
〃 幼 稚 園	志波 和子	15.3	5.6	20.9
〃 小 学 校	福田富美枝	19.6	1.2	20.8
工 学 部	四谷 平治	15.3	4.8	20.1
〃	中村 理正	20.2		20.2
附 属 図 書 館	辻沢弥八郎	13.4	7.3	20.7
経営短期大学部	水井 謹作	11.6	15.3	26.9

高瀬学部長の印度視察談公演

高瀬文理学部長は、既報のとおり、約1ヵ月半にわたって、日本の山嶽信仰の源流を探ね、かたがた、教育、文化の実情視察をかねて、インドを中心とする東南アジアの旅をして10月22日帰来したが、これが報告の講演会が、11月20日午後2時半から文理学部の3番教室で行なわれた。

この講演会は、高瀬学部長の個人的魅力もあって、広い教室も一杯であつた。

話の初めに、インドで買った同国の地図を示し、その精密度、印刷の体裁、紙質などを日本、英国製のそれと現物比較して、その文明の程度を示すシンボルであると前置きして、順次北は部長が目的とする山嶽信仰探さくの地であり、二つの国境紛争のからみ合うカシユミール地方から、新旧デリー、ベナレス、南はボンベイの見たまをを、この国の教育の普及、産業振興の程度、そして宗教のあり方などの基本的な見方に二重に写しつゝ語り、これにタジマール、アジャンタなどの旧蹟を含めてスライドで説明、延々3時間の長広舌を振つた。

内田教授日本学術会議会員に当選

経済学部内田穠吉教授は、日本学術会議の第6期会員選

挙に立候補していたところ、11月30日同会議の中央選挙管理総会で当選を決定した。

日本学生経済ゼミナール

この会は本学経済学部とゼミナール協議会が主催で、11月23から26日の4日間、次の日程で開催された。

11月23日	一般討論会	市公会堂
24日	部門別討論会 —自由テーマ—	富山大学
25日	部門別討論会 —共通テーマ—	〃
26日	総括会議	〃

この会は回を重ねること既に9回、地方大学で開かれることは2回であるということである。加盟する大学は、国公、私立の大学あわせて83であつて、第1日に参集した経済、経営、商学関係学生は約2000人であり、第2日から加わった学生を入れると3000人の多きに達するという。全国の学生がかく多数参集する会合は、当地としても、また、本学としても空前のことであらう。

第1日の市公会堂の会には、横田学長も出席して、本会顧問の花井経済学長とともにあいさつした。この日は“現代日本資本主義の構造分析”なる一般討論が行なわれ、内田教授が司会指導した。

第2日からは会場を本学に移し、自由テーマで、理論、歴史、政策、経営会計などの部門に分れて討論し、これ等討論会の司会指導を、本学や金沢、新潟などの大学教官がつとめた。

最終日は、総括会議として、前日來の討論の締めくくりを行なった。

北信越教育系学生ゼミナール

この第9回ゼミナールは、11月15日から18日までの4日間、本学で開催された。

15日は、午後から黒田講堂で開会式を行ない、あいさつや報告のあと“資本主義社会における教育とわれわれの任務”なるテーマで統一的な討論を行なった。

16、17日の両日は、会場を教育学部の各教室に移して、国語、社会、数学、理科、外国語、美術、音楽、保健、体育、技術、家庭、書道など一般教育学科の他に、パーソナリティ、精薄児、僻地、などの特殊教育の20数分科会に分かれて、それぞれ特定のテーマを掲げて討論検討した。

最後の18日は、日曜日であったが、総会を開いて、午前中は、3日間にわたる論究のあとを辿り、締めくくりをした。そして、午後から、特に招いた東大勝田守一教授の講演を聴いて散会した。

富山アイソトープ談話会

この会は、県下のアイソトープ利用者、およびこれに学問上の関心を寄せる人々が、富山大学の関係教官を中心に集まる会合である。昨年発足して本年は2回目である。

この2回目の会合は、11月30日午後文理学部2番教室で文理学部の小林助教授司会のもとに開かれた。参加者には学外から産業教育館、県農事試験所などの所属員もあり、夫々研究発表を行なったが、本学からは、堀教官、朝野教官が出席研究発表を行なった。最後に、竹内教授があいさつして会を閉じた。

北陸三県大学交歓芸術祭

第12回北陸三県大学交歓芸術祭は、晩秋の11月22日から4日間、福井市の4会場で文学、美術、音楽、演劇、邦楽放送劇の6部門にわたり盛大に開催された。

例年一般市民などの高評を博している当芸術祭は各会場とも多くの観客を得て賑い、本学からも約350名の学生職員が大挙福井へ赴き、応援鑑賞してこの行を旺んにした。

レクリエーション

全国公務員レクリエーション共同事業

バドミントン大会

37年度共同事業としてのこの大会は、11月13日興国人絹パルプ工場体育館で行なわれた。

成績は次のとおり本学が3賞を独占した。

優勝	中川(教)、石野(本)組
次勝	山本(短)、土池(短)組
三位	松下(経)、蔵北(経)組

日誌

本 部

11月2日	県文化功労者表彰式(県議場)において 植木教授受賞
5日	住宅委員会
9日	本省杉江管理局長来学
19日	共済組合年次監査(財務部)
20日	高瀬文理学部長講演
21日	山田北海道大学施設部長(元本学施設課長)来学

- 22日 永年勤続者表彰式
入学試験管理委員会
23日 全国学生経済ゼミナール(26日まで)
24日 補導協議会
27日 アジア財団スローン氏来学経済学部教官と懇談
30日 評議会(第9回)

文理学部

- 11月 7日 人事教授会
14日 学部補導委員会
〃 学部教授会
16日 県教委との就職懇談会
27日 学部補導委員会

教育学部

- 11月 7日 文理学部を併設している教育学部の学部長会議
(愛媛大学8日まで)
12日 学部紀要編集委員会
14日 教務委員会
15日 北信越教育系学生ゼミナール(17日まで)
県教育委員会との教科別就職懇談会
16日 学部紀要編集委員会 学部補導委員会
17日 日本教育大学協会北陸地区第2部会社会科研究
協議会(新潟大学18日まで)
21日 教授会
22日 全国音楽教育研究大会(静岡24日まで)
26日 県及び市町村教育委員会と就職懇談会
28日 学部補導委員会

経済学部

- 11月 6日 40年史編集委員会
15日 人事教授会
教授会(第13回)
19日 研究所常任委員会
20日 越嶺会 〃
21日 国立、10大学経済学部長会議(虎ノ門共済会
館)
22日 学部図書委員会
23日 日本学生ゼミナール第9回富山大会
(26日まで)
26日 越嶺会総会(市公会堂4階ホール)
29日 教授会(第14回)

薬学部

- 11月 2日 日本薬学大会(静岡薬科大学4日まで)
3日 金沢大学薬学部富山大学薬学部学生交歓会
(本学)
5日 新制6大学薬学部長会議(東京)
8日 講座主任会議
9日 教授会 レントゲン間接撮影(指定された者の
み)文部省管理局长 杉江清氏来部
17日 東京大学教授(薬学部)高木敬次郎氏特別講演
遠久寮々祭
19日 人事教授会
20日 レントゲン直接撮影(富山赤十字病院)
21日 講座主任会議
27日 本学学務係長会議(当学部)
28日 教授会

工学部

- 11月 1日 会計事務監査実施(2日まで)
7日 寮生、運動部選手、要注意学生、職員等に対す
るX線間接撮影実施
10日 文部省杉江管理局长視察のため来部
24日 北海道大学武谷教授来部
26日 人事教授会

附属図書館

- 11月 2日 工学部分館会計事務内部監査
9日 目録研修会
16日 目録研修会
27日 図書館商議会(第4回)
30日 事務打合せ

経営短期大学部

- 11月 6日 第14回専任教官会議
9日 短大後援会打合せ会
14日 38年度入試問題作成委員会
15日 英語再試験(16日まで)
22日 第15回専任教官会議
英語集中講義分試験
26日 昭和37年度越嶺会総会(市公会堂)
27日 学務事務打合せ会(薬学部)

職 員 住 所

転 居

文理学部

講 師 平 田 純

附属図書館

事 務 官 齊 藤 隆

薬学部

事 務 員 長 沢 義 男

電 話

教育学部

助 教 授 高 野 兼 吉

昭和37年12月15日

印刷所 昭和印刷株式会社